



納税の利便性と収納率向上を

嘉倉 治

答

納税手段の拡大で納税者の利便性を図る

質 納税の利便性、収

納率向上のため、コンビニエンスストア収納、クレジットカード払い、ペイジー（マルチペイメントネットワーク）による電子収納）等選択肢を拡げ、納税者の立場からも推進するべきでは。

課長 住民に身近な納税場所としてコンビニ収納を3町1村の共同電算システム処理で検討を始めている。実施時期は24年度準備、25年度からできるよう努力してまいりたい。

質 町・都民 し、一回当りの負担軽減を図るべきでは。

課長 納期の期日、回数は地方税法に基づき町税賦課徴収条例で定

めており、町・都民税

4期、固定資産税4期、国民健康保険税8期となっているが、それぞれ納期日が異なるよう設定している。なお、生活困窮の納税者には、分納納付の相談を受けている。今後、納税者の負担軽減が図れるよう努力してまいり

たい。

他の質問

・スポーツ振興で生き生き健康日の出町を！

